

佐賀空港の自衛隊使用要請に関する説明会 佐賀市長挨拶

開催日 令和4年12月25日(日)

場所 佐賀市立諸富文化体育館

○坂井市長

皆様こんにちは。

佐賀市長の坂井英隆でございます。

本日は年末の日曜日という慌ただしい時にも関わらず、多数の御参加をいただきましたことを御礼申し上げます。

佐賀空港所在の立地自治体の市長として、まず御挨拶を申し上げます。

先ほど、山口知事の方から経緯等の説明がありましたが、本年11月1日に、佐賀県有明海漁協と、佐賀県との間で、佐賀空港建設時に締結された公害防止協定の覚書付属資料の見直しの判断がなされました。

そして、山口知事の方からも私に御連絡があり、また、翌11月2日には佐賀県の方から覚書付属資料の見直しの説明と報告に来庁がありました。

また11月の10日には、防衛省の井野防衛副大臣と、先ほど御説明のあった伊藤九州防衛局長が私の方に見直しの報告と協力要請ということで、来庁があったところであります。

佐賀県と有明海漁協との間のこの覚書付属資料の見直しについては、これまで様々な議論があったと、先ほど、山口知事からもお話がありましたが、そうした中で、本年の8月とか、9月には、6支所の漁業者の皆さんへの説明会等も開催されたということで、その中でも様々な意見があったというふうに承知をしております。

有明海漁協さんにおいて、そうした中での、苦渋の決断ということをおっしゃっております。

有明海漁協において、そういう判断がされたということについては、私どもとしても大変重いものというふうに受け止めているところであります。

佐賀市としましては、この計画の説明を防衛省や佐賀県から、改めて聞くとともに、立地自治体として防衛省等には市民の皆様へ寄り添った対応をとということで求めてまいったところであります。

住民の皆様への説明会の早期開催ということも、求めてきたところでありまして、この度、本日から3日間、佐賀空港の自衛隊使用要請に関する説明会が、防衛省と県の共催で開催されると。そして佐賀市としましては、態度表明ということに至っておりませんが、立地自治体として、市政の重要課題であるということから、協力という立場で、本説明会に参画をしているところであります。これまで、市民や市議会、そうした皆様等からも、米軍配備、排水対策、安全性など、様々な不安の声が上がっております。

防衛省等には私どもからも、これまでの懸念の声、不安の声を踏まえて、本日の説明会でしっかりと御説明いただけるようにというふうに伝えているところであります。

皆様からは、忌憚のない御意見をお願いいたしまして、この後、防衛省から説明があると思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

私からは以上です。